

(3) 主体的・対話的で深い学びの授業提案

● 題材名：見えないお金の仕組みと機能を学ぶ ● 実施科目：家庭総合

● 題材の目標

- ・今日の家計は、クレジットカードや電子マネーの普及などキャッシュレス化によって大きく変化しており、情報が氾濫する中で慎重な意思決定が求められていることを具体的な事例を通して理解させる。

	1 時間目	2 時間目	3 時間目
小題材名	キャッシュレス化による金銭管理	クレジットカードと契約	クレジットカードの支払方法とショッピング利用時の注意事項
目的	・日常生活で使われている様々な「お金の代わりにするカード」とその機能を知る。	・クレジットカードの仕組みと特徴を理解する。 ・契約の基礎知識を踏まえ、契約内容を理解し、規約を守ることの大切さを理解する。	・クレジットカードの支払方法の種類と特徴を知る。 ・リボ払いの利息計算から、計画的にクレジットカードを利用することの重要性を理解する。

授業展開例⑥ 「キャッシュレス化による金銭管理」

● 学習指導過程

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	1.グループワークの流れと、本時のねらいを確認する。	(キャッシュレス) 化が急速に進む中、自分や家族が持っているカードの特徴を理解する。	
展開Ⅰ 15分	2.自分や家族の持っている「お金の代わりにするカード」を出し合い、カードに関する自分たちの知識、経験を伝え合う。	・お金の代わりにするカードやチラシ、広告などを見せ、急速にキャッシュレス化が進行している現状に気付かせる。 ・カードの使い方を話し合う中で、様々なカードの特徴に気付かせる。	お金の代わりにするカードセット クレジット機能付きポイントカードのチラシ、広告（本物） ワークシート⑥
展開Ⅱ 15分	3.各グループに用意された紙にそれぞれのカードについての意見を書き込む。 全体で発表する。	・必ずしも正解・不正解を聞いているわけではないと助言し、自由な発言を促す。	A3以上の大きな用紙（グループワーク用）
展開Ⅲ 10分	4.お金の代わりにするカードの特徴と契約について学習する。 数種類のお金の代わりにするカードを前払い、即時払い、後払いに仕分けてみる。	・支払いに使用できるカードの機能を説明し、「カードを持つためには各社と会員契約を結ぶ必要がある」ことを説明する。	A3以上の大きい紙（グループワーク用） お金の代わりにするカードのフリップ ワークシート⑥
まとめ 5分	5.学習内容を振り返り、意見交換をする。 グループごとに、この授業を通して気付いたことや疑問点をワークシートに記入する。	・次週はクレジットカードについてWeb版読本で学習することを予告し、生徒の興味関心を高める。	ワークシート⑥

ワークシート⑧ 「キャッシュレス化による金銭管理」

年 組 名

ねらい

(**キャッシュレス**) 化が急速に進む中、自分や家族が持っているカードの特徴を理解する。

1 自分や家族の持っている「お金の代わりにするカード」を出し合ひましょう。どんなカードを使って商品やサービスを購入しているか話し合ってください。

ICUCA	Qunカード	LIME PAY
<ul style="list-style-type: none"> ・電車に乗る。 ・おサイフケータイなのでICカードではない。 ・駅でチャージする。 ・売店でお菓子を買う。 ・自動販売機でお茶を買う。 ・コンビニでチャージをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアで食べ物を買う。 ・景品などでもらうことが多い。 ・使い切ったら終わり（何度もチャージできない）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショッピングで音楽やゲームを買う。 ・チャージがコンビニに行かなければいけないので面倒。 ・チャージは銀行口座から引き落としにした。

2 「お金の代わりにするカード」について思ったことを話し合ひましょう。現金と比較してどのような違いがあるかについても考えてください。

- ・カッコいい。 ・お金はなくなったら戻らないけど、カードならストップすることができる。
- ・ポイントやマイルがたまってお得。 ・何でも買える魔法のようなカード。
- ・ネットショッピングで使える。買いやすい。ショッピングし放題。 ・身分証明になる。
- ・現金と違って身軽。小銭が増えない。

3 お金の代わりにするカードを前払い、即時払い、後払いに分類してみましょう。

支払時期	カードの機能	主なカード
前払い (プリペイド) カード	事前にカードに入金された金額の範囲で買い物などに利用する。	
即時払い (デビット) カード	カード利用と同時に銀行の預金から買い物代金が引き落とされる。	
後払い (クレジット) カード	カードを提示することで、買い物などに使用する。後日、銀行の預金から買い物代金が引き落とされる。	

4 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- ・現金以外の支払方法（電子マネー、クレジットカードなど）が多様化する中、「お金の代わりにするカード」を使って、現金との違いを理解した。
- ・キャッシュレス化が進む中で、お金の代わりにする様々なカードの特徴を理解し、自分はどうように金銭管理を行ったらよいか考えた。 など

付録の「お金の代わりにするカード」を使い、自分や家族が持っているカードを想起させ、自由な意見を引き出すことにより、キャッシュレス化が生徒の生活の中でどの程度浸透しているのか把握することができます。

現時点で生徒がどのようなことを知っているのか、気付きを多く引き出します。正解・不正解を求めるのではなく、実生活で役立てたいと思えるように、自由な意見を促します。

付録の「お金の代わりにするカード」のフリップにマグネットを付ければ、黒板やホワイトボードに張って、支払いに使用できるカードの機能を説明することもできます。


「カードを持つためには各社と会員契約を結ぶ必要がある」ことを確認します。

設問例Ⅱ 活動を通じて、気付いたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？

- ・友だちが持っているお金の代わりにするカードの中には、自分が知らないカードもあった。また、これまでは、親がチャージしてくれた前払いのカードを使っていたが、今日の授業で、即時払い、後払いできるカードがあるということも知った。

設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？

- ・友人が持っているカードは、〇〇コンビニで買い物すると、ポイントが付くという。どうしてそのような特典が付くのだろうか。 など



考えるポイントを習熟度別にした問いを用意しました。Ⅰの問いに回答できた生徒にはⅡを問いかけ、理解度を確認し合いながら考えを深められるように促します。

Ⅰ	<input type="checkbox"/> 基本事項のキーワードを押さえ、授業のねらいである「カードの特徴」を理解する。
Ⅱ	<input type="checkbox"/> 授業のねらいである「カードの特徴」を理解する。 <input type="checkbox"/> 自分の生活体験と授業内容を関連付けて、言葉で説明することができる。
Ⅲ	<input type="checkbox"/> 「カードの特徴」について理解するだけでなく、新たな疑問や課題を自分で見つけ、探求しようとする。